

## サーバクライアント（共同編集あり）用



### Windows11 での作業

- ③ FC アカウントのインストール
- ④ TREND-ONE のインストール
- ⑤ ライセンスの認証
- ⑥ データ・設定のリストア（復元）
- ⑦ セキュリティソフトの除外設定



# 3

## FC アカウントのインストール

新パソコン（Window11）に、TREND-ONEの最新プログラムをダウンロードするのに必要な「FCアカウント」をインストールします。

### 3-1 FCアカウントをダウンロードしてインストールする

弊社WEBサイトから、「FCアカウント」をダウンロードしてインストールします。

※コンピューターが再起動されますので、実行中のアプリケーションは、全て終了させておいてください。

- 1 インターネットの検索サイトで、「FC アカウント」を検索します。



- 2 検索結果の「FC アカウントご利用案内 | 福井コンピュータグループ」をクリックします。

検索結果に表示されない場合は、以下のアドレスを直接ブラウザに入力してください。

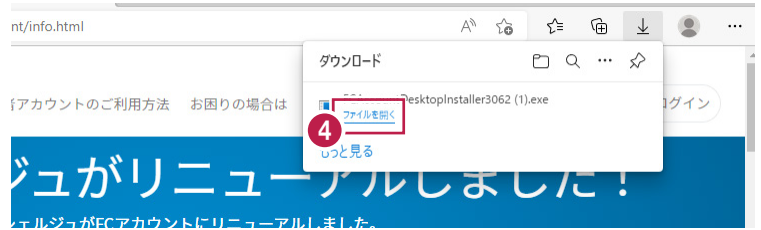
<https://hd.fukuicompu.co.jp/fc-account/info.html>



- 3 「FC アカウントをダウンロード」をクリックします。



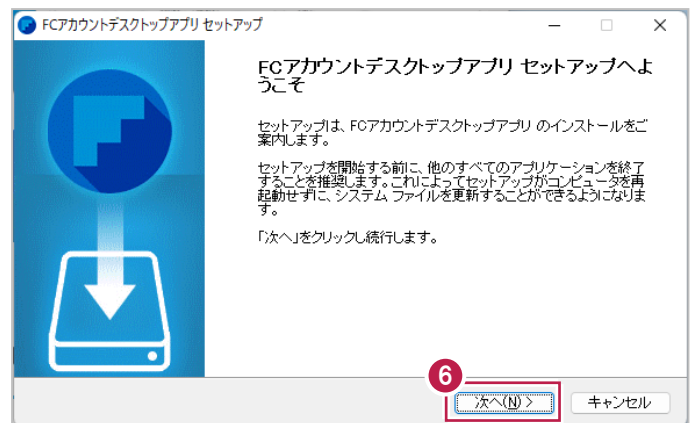
- ④ ファイルのダウンロードの画面が表示された場合は、「ファイルを開く」を押します。



- ⑤ ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、「はい」をクリックします。

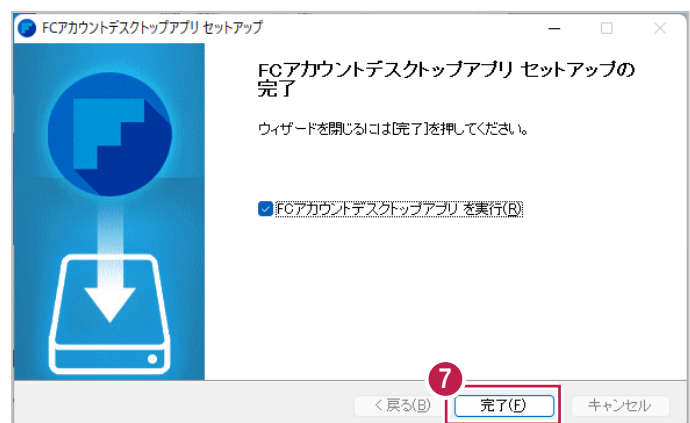


- ⑥ FC アカウントのセットアップが始まります。画面にしたがって、セットアップをおこなってください。



- ⑦ インストールが完了したら、「完了」をクリックします。

※ [FC アカウントデスクトップアプリを実行] がオンの状態で「完了」をクリックすると、自動的に FC アカウントのデスクトップ版が起動されます。



※ FC アカウントのデスクトップ版をインストールすると、デスクトップに FC アカウントを起動するアイコンが登録されます。



※ インストールしたデスクトップアプリ版で、FC アカウントを登録して製品をインストールします。

8 FCアカウントデスクトップ版で次の画面が開きます。「次のステップへ」を押します。

※ 他のパソコンで FC アカウントを登録済みの方は、「すでに FC アカウントをお持ちの方はログインへ」よりログインして、「インストール・バージョンアップ」より製品をインストールできます。



9 FC アカウントデスクトップ版を利用するお客様のメールアドレスを入力して、「確認コードを送信」を押します。

「次へ」をクリックして、ユーザー登録をおこないます。



10 入力したメールアドレス先にメールが届きます。メールに書かれているコードを「確認コード」に入力して「コードの確認」を押します。



- 11 「新しいパスワード」「パスワードの確認入力」（確認のため2回入力）「姓」「名」を入力し、利用規約を確認して「利用規約に同意」にチェックを付け「作成」を押します。

メールアドレスを確認しました。引き続きパスワード、姓、名を入力して「作成」を押してください。

11

新しいパスワード

パスワードの確認入力

姓

名

利用規約に同意（※ページ下部参照）

作成

< 戻る

- 12 「お客様情報の確認」を押します。

ご利用中の当社製品シリアルから当社でお預かりしているお客様情報と連携します

12 お客様情報の確認

< HOME

- 13 右記の画面が表示されますので、保守サービス中をご契約中の場合は「こちら」をクリックします。

シリアルが見つかりませんでした。

当社製品をご利用の際は、一度お試しください。

保守サービスをご契約中の方は、[こちら](#)から当社製品をインストールできます。

13

お客様情報ごとのお問い合わせは[こちら](#)

< HOME

- 14 「ユーザーコード」と「製品シリアル」を入力して「製品を表示する」を押します。

HOME > 保守契約プログラムのインストール

14

保守契約プログラムのインストール

ユーザーコードと製品シリアルを入力してください。

インストール可能な製品が表示されます。

※ユーザーコードと製品シリアルについては [こちら](#)

製品を表示する

※以上で、「FC アカウントのインストール」は完了です。

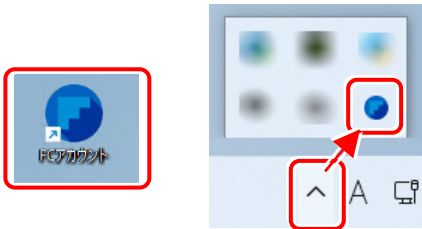


# 4

# TREND-ONE のインストール

新パソコン（Windows11）にインストールしたFCアカウントを利用して、TREND-ONEを新規インストールする手順を解説します。

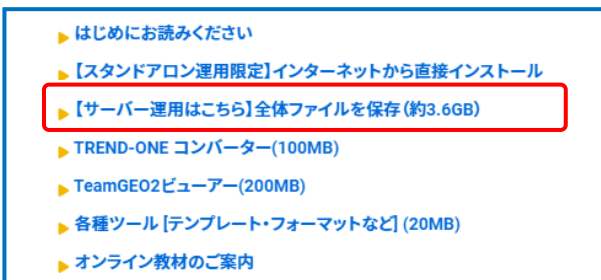
1. デスクトップのアイコン、または画面右下のタスクバーの通知領域のアイコンから、「FCアカウント」を開きます。



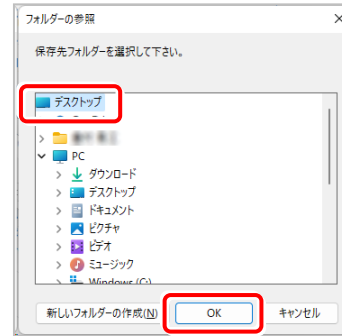
「インストール・バージョンアップ」のページにあるTREND-ONEの「インストール」ボタンをクリックします。



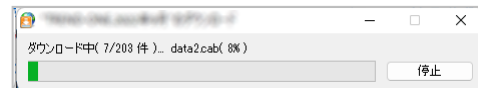
メニューが表示されますので、「【サーバー運用はこちら】全体ファイルを保存」をクリックします。



2. ダウンロードする全体ファイルの保存先を選択して、[OK]をクリックします。



3. ダウンロードが開始されます。



※ ダウンロードを中止するには、上記画面で[停止]をクリックしてダウンロードを一時停止してから、[X]ボタンでダウンロードをキャンセルしてください。

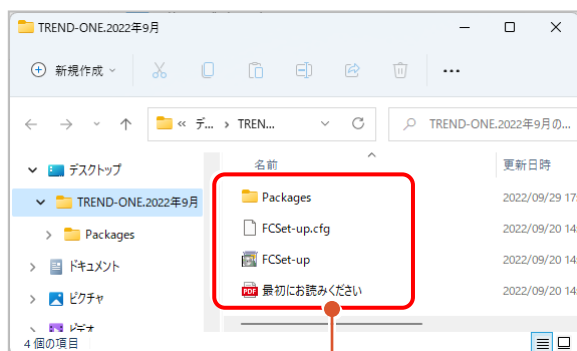
4. ダウンロードが完了すると、セットアップ画面が表示されます。

[閉じる]をクリックして画面を閉じます。

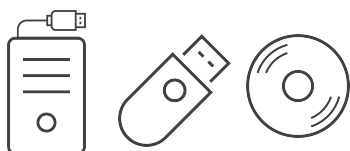


(次ページへ続く)

5. エクスプローラーなどを利用して、ダウンロードした全体ファイルを、外付けハードディスクなど他のメディアにコピーして保存します。



外付けのハードディスクなど他のメディアにコピーして保存します。

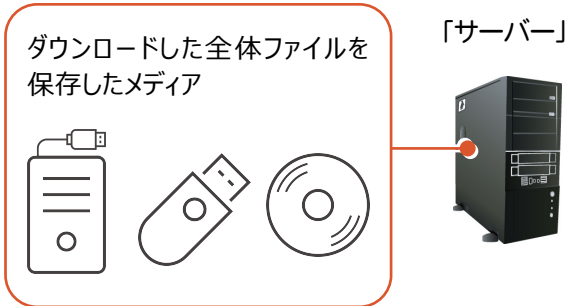


以上で、全体ファイルの保存は完了です。  
続いて次ページへ進み、プログラムをインストールします。

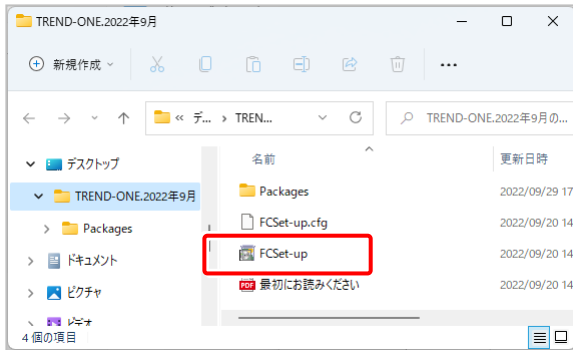
▼  
(次ページへ続く)

## まず、サーバーにプログラムをインストールします

1. 全体ファイルをコピーしたメディア（外付けハードディスクなど）を、サーバーにセットします。



2. エクスプローラーなどを利用して、ダウンロードした全体ファイルにある“FCSet-up.exe”を実行します。



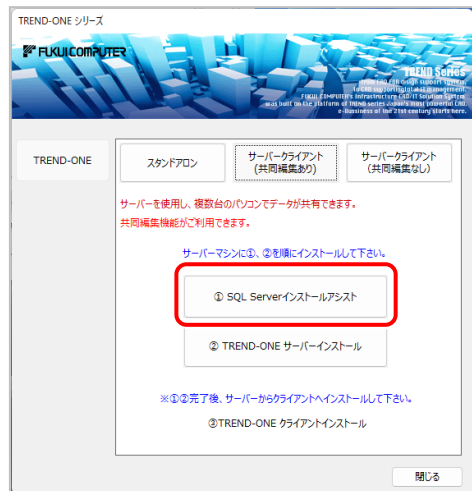
3. セットアップ画面が表示されます。



[サーバクライアント（共同編集あり）]タブを選択します。



[① SQLServer インストールアシスト]ボタンを押します。



(次ページへ続く)



#### 4. 表示される画面に従って、インストールを進めます。

##### インストールアシストが不要な場合があります

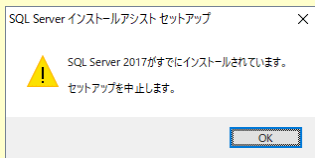
※ コンピューターに、既に製品版の「SQL Server」がインストール済みの場合は、「インストールアシスト」でSQL Serverをインストールしないでください。

次ページへ進んでください。

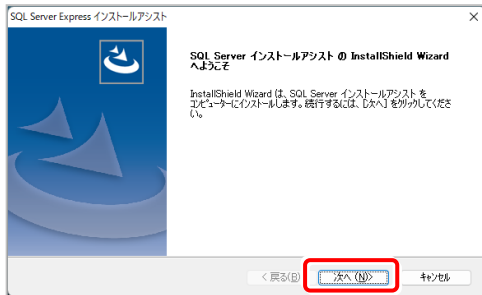
※ 「インストールアシスト」でSQL Serverをインストールする必要がない場合は、「セットアップ（インストール）を中止します。」とメッセージが表示されます。

次ページへ進んでください。

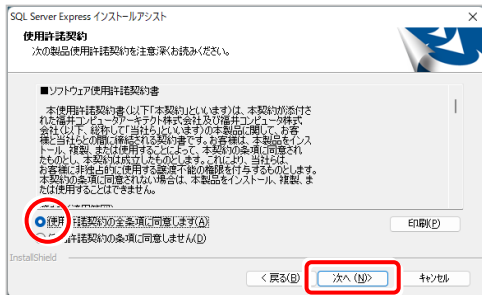
##### メッセージ例



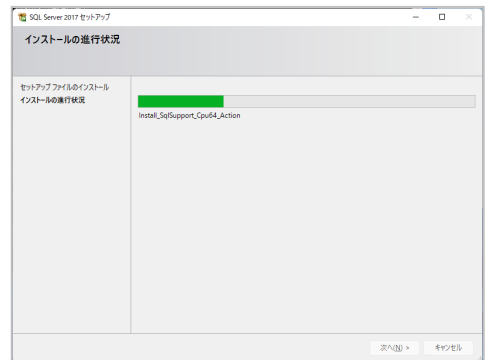
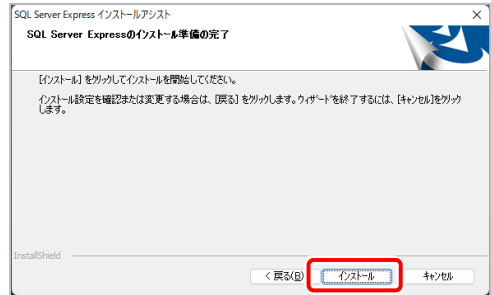
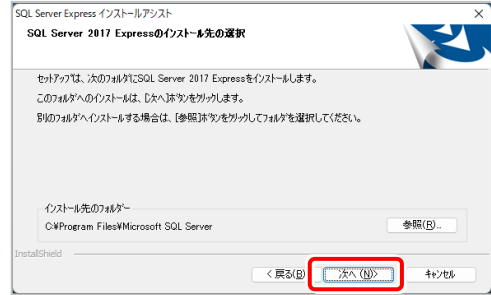
- ※ 画面は、環境によって異なる場合があります。
- ※ インストールには時間がかかる場合があります。



[使用許諾契約の全条項に同意します]を選択します。



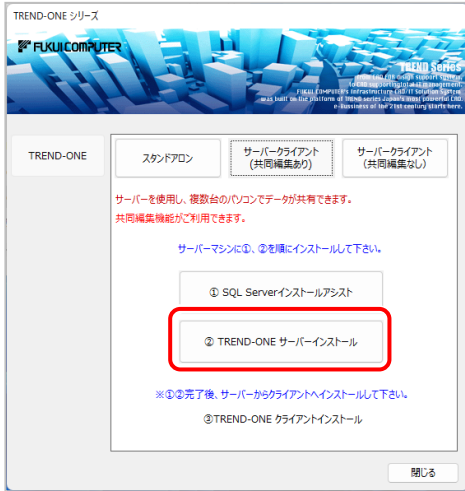
プログラムのインストール先を確認して次へ進みます。



※ 再起動が必要なメッセージが表示された場合は、メッセージに従って再起動してください。

(次ページへ続く)

**5. サーバーで、セットアップ画面の[② TREND-ONE サーバーインストール]ボタンを押します。**



**6. インストール環境の確認画面が表示されます。すべての項目を確認してチェックしてから、[次へ]ボタンを押します。**



表示される画面に従って、インストールを進めます。



[ソフトウェア使用許諾契約の全条項に同意します]を選択します。



プログラムのインストール先を確認して次へ進みます。

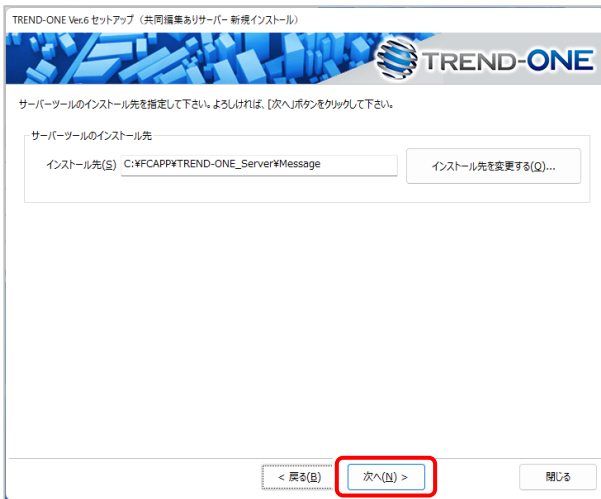


(次ページへ続く)

サーバー現場データの保存先を確認して、[次へ]を押します。



サーバーツールのインストール先を確認して、[次へ]を押します。

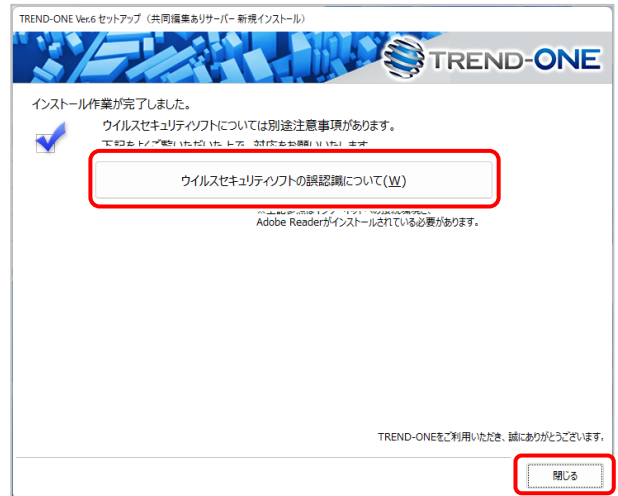


内容を確認して、[セットアップ開始]を押します。プログラムのインストールが開始されます。



インストールが終わったら、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]を確認します。

確認を終えたら、[閉じる]を押します。



### ウイルスセキュリティソフトの誤認識について

ウイルスセキュリティソフトの誤認識により、TREND-ONEが正常に動作しない場合があります。

誤認識を防ぐためには、セキュリティソフト側で「検出の除外」を設定する必要がある場合があります。

「検出の除外」の設定手順については、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]ボタンから表示される資料を参考にしてください。

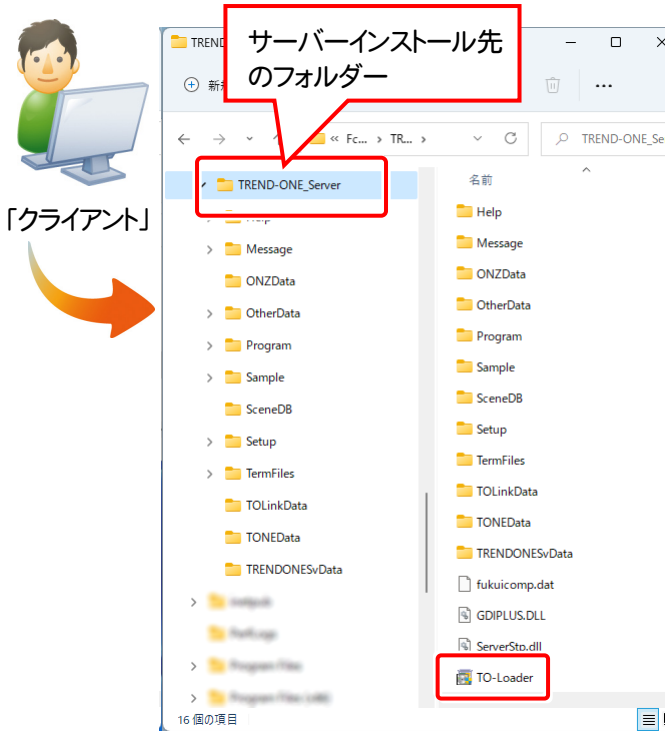
以上で、サーバーのインストールは完了です。

続いて次ページへ進み、クライアントにインストールします。

(次ページへ続く)

## 次に、クライアントにプログラムをインストールします

1. クライアントからエクスプローラーでサーバーを参照して、サーバーインストール先のフォルダーにある、「TO-Loader.exe」を実行します。



2. インストール環境の確認画面が表示されます。すべての項目を確認してチェックしてから、[次へ]ボタンを押します。



表示される画面に従って、インストールを進めます。



[ソフトウェア使用許諾契約の全条項に同意します]を選択します。



(次ページへ続く)

コンピューターの時計、使用するプロテクト（「プロテクト」タイプ）、インストール先フォルダーを確認します。  
必要があれば、変更してください。

設定を終えたら、[次へ]を押します。



**時計を確認してください**

コンピューターの時計が正しくないと、プロテクトが正常に動作しません。

**プロテクトを確認してください**

プロテクトが「ネット認証ライセンス(占有)」になっていることを確認してください。

**インストール先のフォルダーを確認してください**

インストール先を変更する場合は、[インストール先を変更する]ボタンから表示されるダイアログで、インストール先のフォルダーを指定します。

サーバー名を確認して次へ進みます。



内容を確認して、[セットアップ開始]を押します。  
プログラムのインストールが開始されます。



インストールが終わったら、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]を確認します。

確認を終えたら、[閉じる]を押します。

再起動が必要な場合は、再起動してください。



**ウイルスセキュリティソフトの誤認識について**

ウイルスセキュリティソフトの誤認識により、TREND-ONEが正常に動作しない場合があります。

誤認識を防ぐためには、セキュリティソフト側で「検出の除外」を設定する必要がある場合があります。

「検出の除外」の設定手順については、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]ボタンから表示される資料を参考にしてください。

以上で、「TREND-ONEのインストール」は完了です。



## 5 ライセンスの認証

新パソコン（Windows11）でプログラムを起動して、ネット認証ライセンス（占有）の「プロダクトIDの認証」をおこないます。

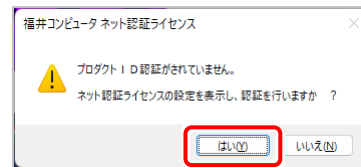
※ プロダクトIDの認証時は、インターネットに接続された環境が必要です。

### 5-1 ネット認証ライセンス（占有）の、プロダクトID認証手順

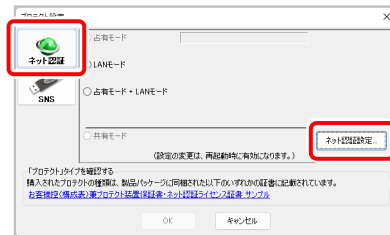
1. デスクトップの[TREND-ONE]をダブルクリックして起動します。



2. プロダクトID認証のメッセージが表示された場合は、[はい]を押して、ネット認証ライセンス（占有）の認証をおこないます。

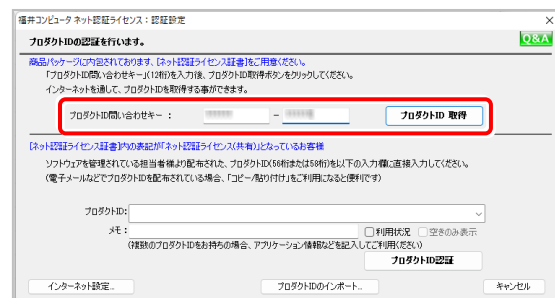


[プロテクト設定]画面が表示された場合は、[ネット認証]を選択して、[ネット認証設定]を押します。

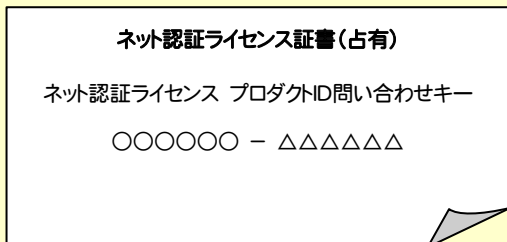


3. [プロダクトID問い合わせキー]を入力して、[プロダクトID取得]ボタンを押します。

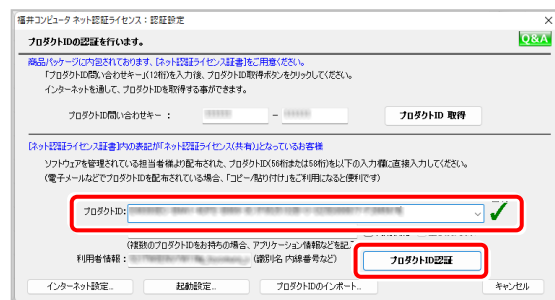
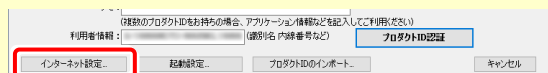
[プロダクトID]が取得されたのを確認したら、[プロダクトID認証]ボタンを押します。



[プロダクトID問い合わせキー]は 6桁+6桁 です。  
送付される「ネット認証ライセンス証書(占有)」に記載されています。



※ プロダクトIDの取得や認証が正常にできない場合は、[インターネット設定]ボタンを押して、プロキシ設定を変更してみてください。



(次ページへ続く)

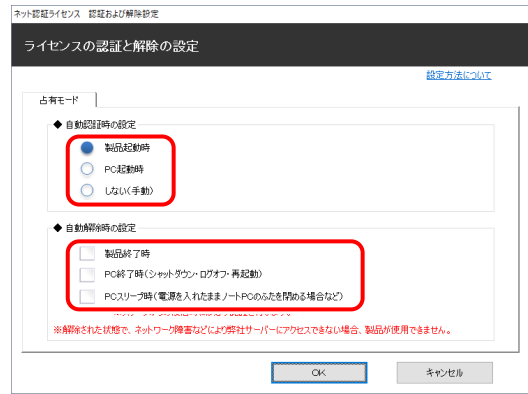
**4. 「ライセンスの認証と解除の設定」画面が表示されます。**  
 お客様のご利用環境に合わせて、「自動認証時の設定」と「自動解除時の設定」を設定してください。

**自動解除は、以下の様な使用方法の時に設定します**

事務所内など、常時インターネット接続が可能な環境で使用しており、

- 複数人でライセンスを使用する場合。
- 他のコンピューターでもライセンスを使用する場合。
- 商品構成の異なるプロダクトIDを、都度切り替えて使用する場合。

※ 自動解除の設定はお客様のご判断でご使用ください。



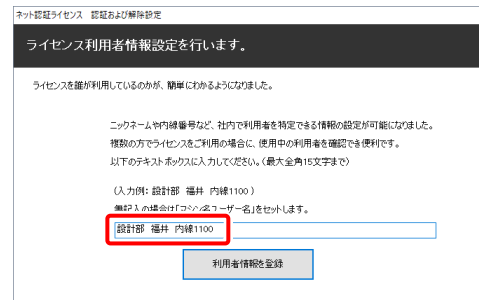
設定を終えたら、[OK] ボタンを押します。



利用者情報を入力して登録してください。

【利用者情報】は、プロダクトIDの利用状況（誰が使用しているか、どのコンピューターで使用されているか等）を確認する際に利用されます。

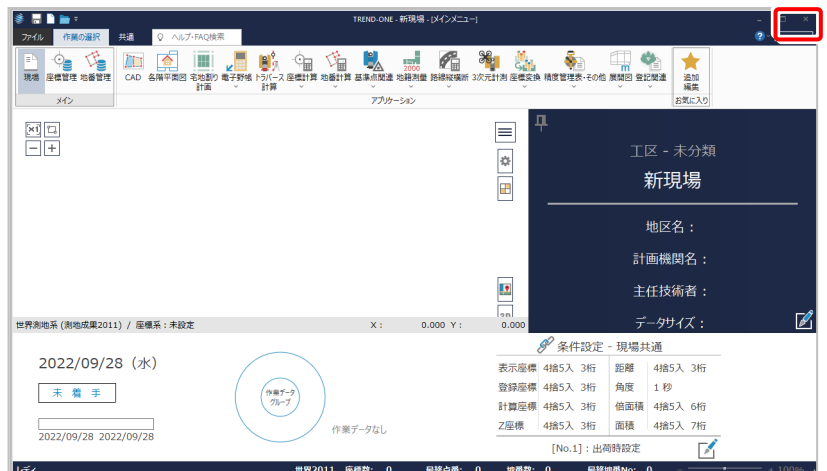
内線番号やニックネーム、コンピューターの識別名などを入力してください。



**5. プログラムが起動します。**

ここでは一旦プログラム右上の「×」ボタンをクリックして、プログラムを終了します。

以上で「ライセンスの認証」は完了です。





## 6 データ・設定のリストア（復元）

旧パソコン（Windows8.1）でバックアップしたTREND-ONEの「サーバー現場データ」、「ローカル現場データ」、「全設定」を、新パソコン（Windows11）のTREND-ONEにリストア（復元）します。

### 6-1 「サーバー現場データ」をリストア（復元）する

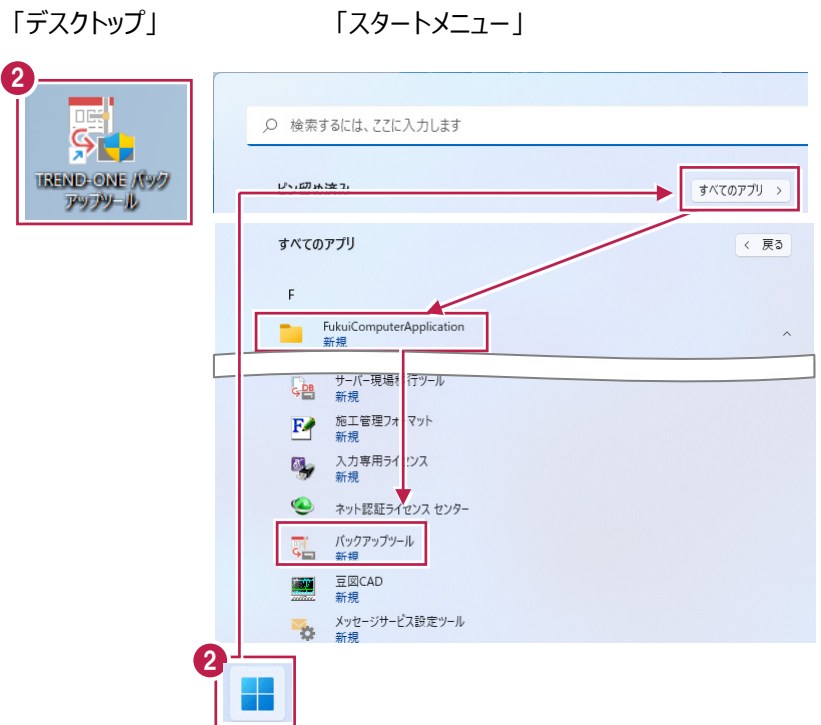
「サーバー現場データ」のバックアップファイルを使用して、サーバーに「サーバー現場データ」をリストア（復元）する手順です。

「サーバー現場データのリストア（復元）」は、サーバーでおこないます。

- 1 サーバーに、「サーバー現場データ」のバックアップファイルを保存したメディア（外付けハードディスクなど）をセットします。

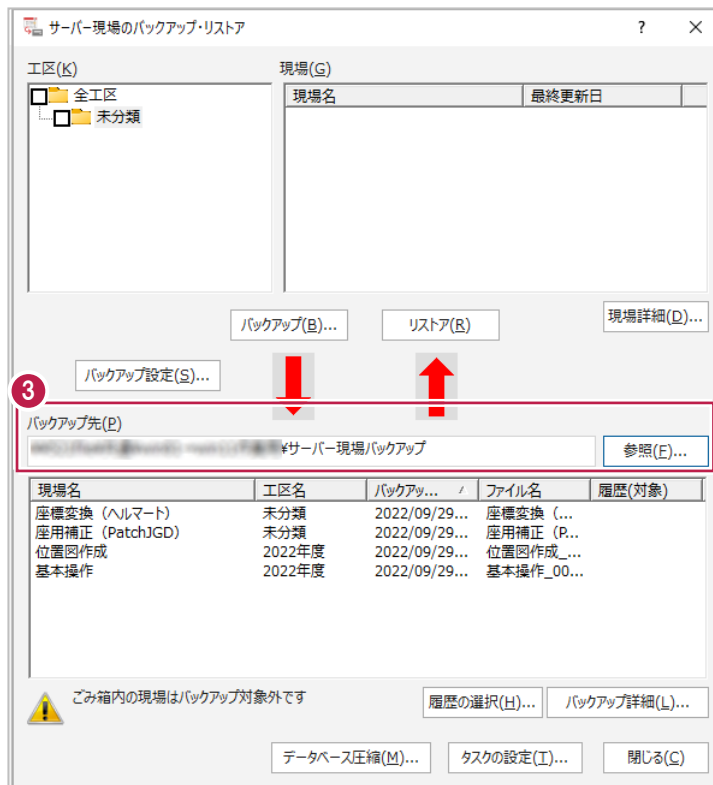


- 2 サーバーのデスクトップにある  
[TREND-ONE バックアップツール]  
をダブルクリック、または  
[スタートメニュー] - [すべてのアプリ]  
[FukuiComputerApplication] -  
[バックアップツール]  
をクリックして、「サーバーバックアップツール」を  
起動します。





- ③ [バックアップ先] で、「サーバー現場データ」のバックアップファイルが保存されているフォルダーを指定します。



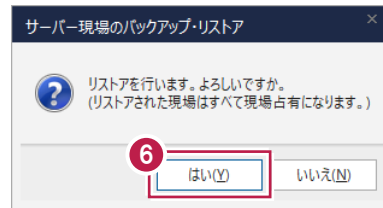
- ④ 一番上の現場データをクリックした後、「Shift」キーを押しながら、一番下の現場データをクリックして、現場データをすべて選択します。



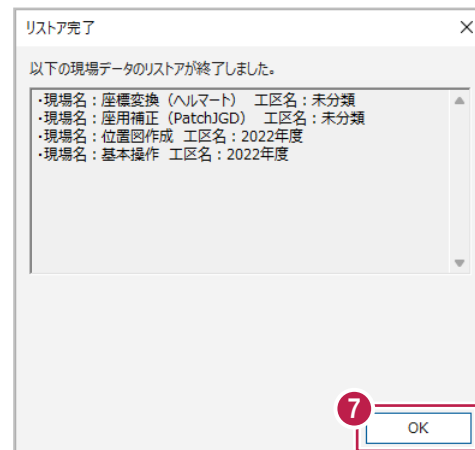
- ⑤ [リストア] をクリックします。



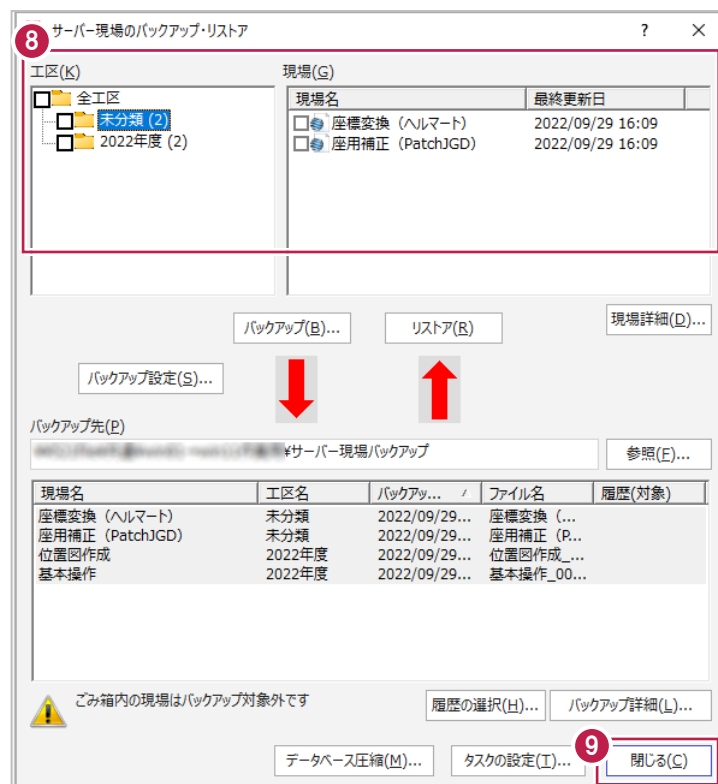
- 6 [はい] をクリックします。  
リストア（復元）が開始されます。



- 7 リストアが終了したら、[OK] をクリックします。



- 8 リストア（復元）された「工区」と「現場」を確認します。



- 9 [閉じる] をクリックして、「サーバーバックアップツール」を終了します。

以上で「サーバー現場データのリストア（復元）」は完了です。

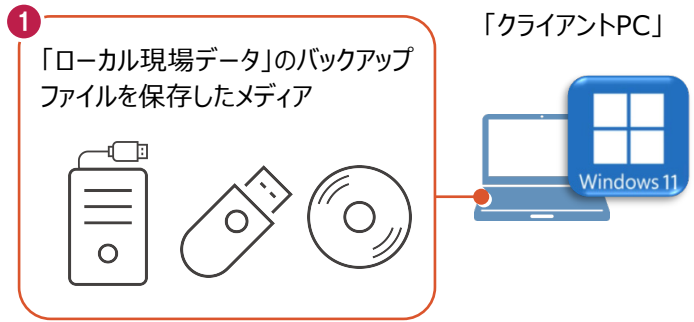
## 6-2 「ローカル現場データ」をリストア（復元）する

「ローカル現場」のバックアップファイルを使用して、クライアントPCのローカル現場データをリストア（復元）する手順です。  
 ※現場管理以外のプログラムは終了しておいてください。

「ローカル現場データのリストア（復元）」は、すべてのクライアントPCでおこないます。

※ただし、ローカル現場を持たないPCでは、必要ありません。

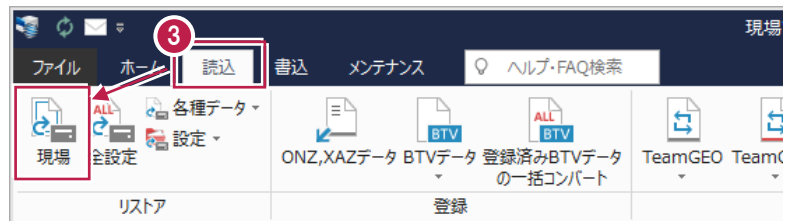
- 1 クライアント PC に、「ローカル現場データ」のバックアップファイルを保存したメディア（外付けハードディスクなど）をセットします。



- 2 現場管理を起動して、[ホーム] タブ → [表示モード] グループ → [ローカル現場] をクリックします。



- 3 [読込] タブ → [リストア] グループ → [現場] をクリックします。

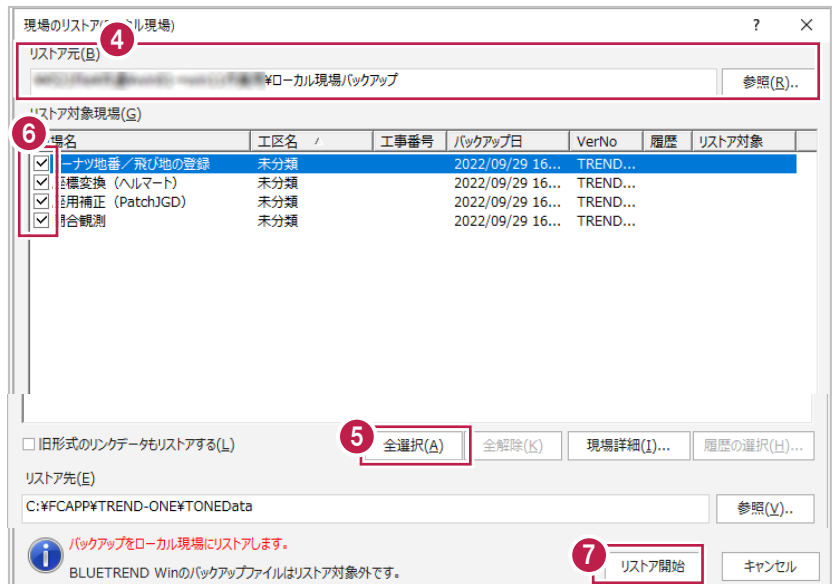


- 4 現場データのバックアップファイルが保存されているフォルダーを指定します。

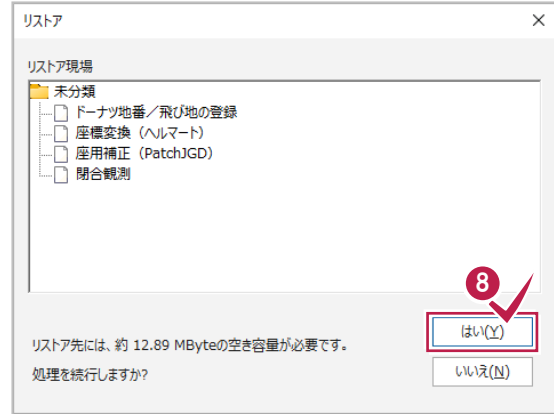
- 5 [全選択] をクリックします。

- 6 リストア対象現場のチェックが、すべて「オン」になっていることを確認します。

- 7 [リストア開始] をクリックします。



- 8 [はい] をクリックします。  
リストア（復元）が開始されます。



- 9 リストア（復元）が終了したら、[OK] をクリックします。  
以上で「ローカル現場データのリストア（復元）」は完了です。

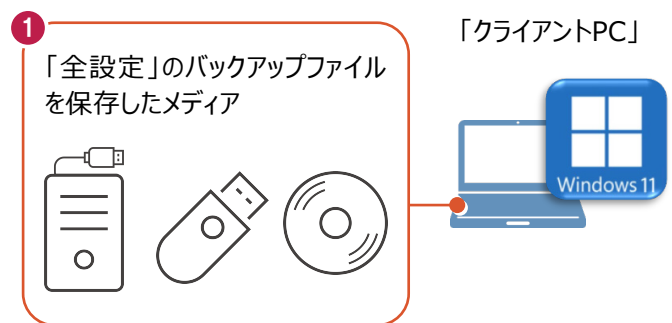


### 6-3 サーバーの「全設定」をリストア（復元）する

「全設定」のバックアップファイルを使用して、サーバーの全設定をリストア（復元）する手順です。  
※現場管理以外のプログラムは終了しておいてください。

「サーバーの全設定のリストア（復元）」は、いずれか1台のクライアントPCでおこないます。  
※他ユーザーが現場を起動していないことを確認してください。

- 1 いずれか1台のクライアントPCに、「全設定」のバックアップファイルを保存したメディア（外付けハードディスクなど）をセットします。



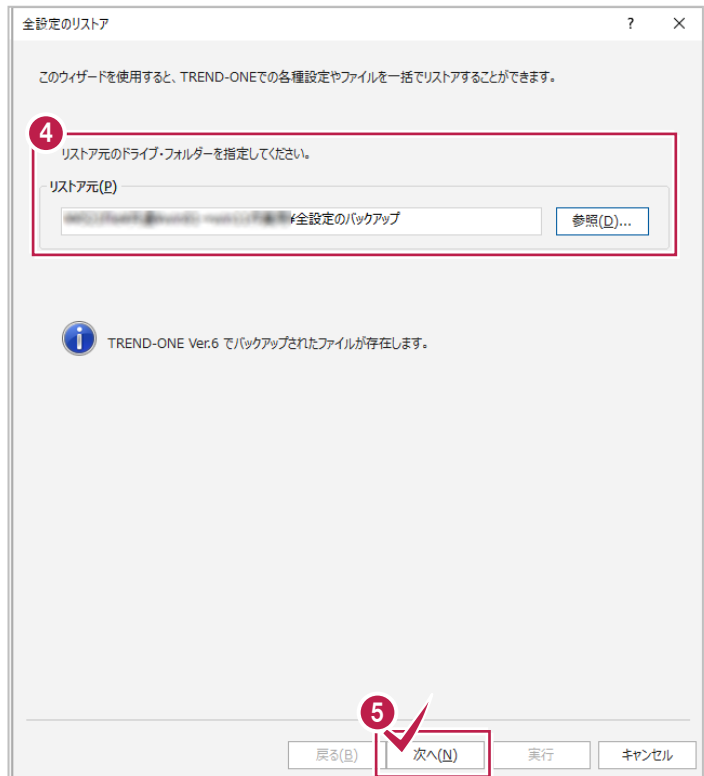
- 2 現場管理を起動して、[ホーム] タブ [表示モード] グループ [ローカル現場] をクリックします。



③ [読込] タブー [リストア] グループー [全設定] をクリックします。



④ 全設定のバックアップファイルが保存されているフォルダーを指定します。



⑤ [次へ] をクリックします。

⑥ [全選択] をクリックします。

⑦ 条件のチェックが、すべて「オン」になっていることを確認します。



⑧ [次へ] をクリックします。

9 [実行] をクリックします。

リストア（復元）が開始されます。

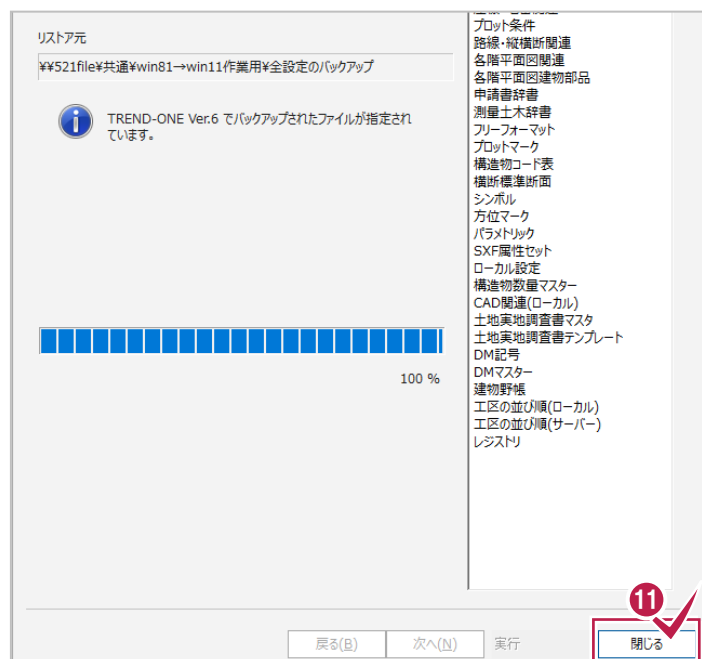


10 リストア（復元）が終了したら、[OK] をクリックします。



11 [閉じる] をクリックします。

以上でサーバーの「全設定のリストア（復元）」は完了です。

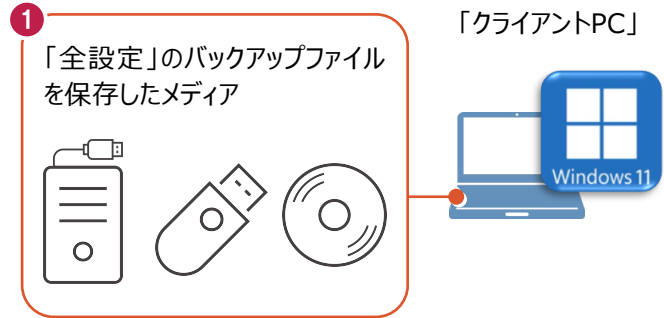


## 6-4 クライアントPCの「全設定」をリストア（復元）する

「全設定」のバックアップファイルを使用して、各クライアントPCに保存される設定（レジストリなど）をリストア（復元）する手順です。 ※現場管理以外のプログラムは終了しておいてください。

「クライアント PC の全設定のリストア（復元）」は、すべてのクライアント PCでおこないます。

- 1 クライアントPCに、「全設定」のバックアップファイルを保存したメディア（外付けハードディスクなど）をセットします。



- 2 現場管理を起動して、[ホーム] タブ [表示モード] グループ [ローカル現場] をクリックします。



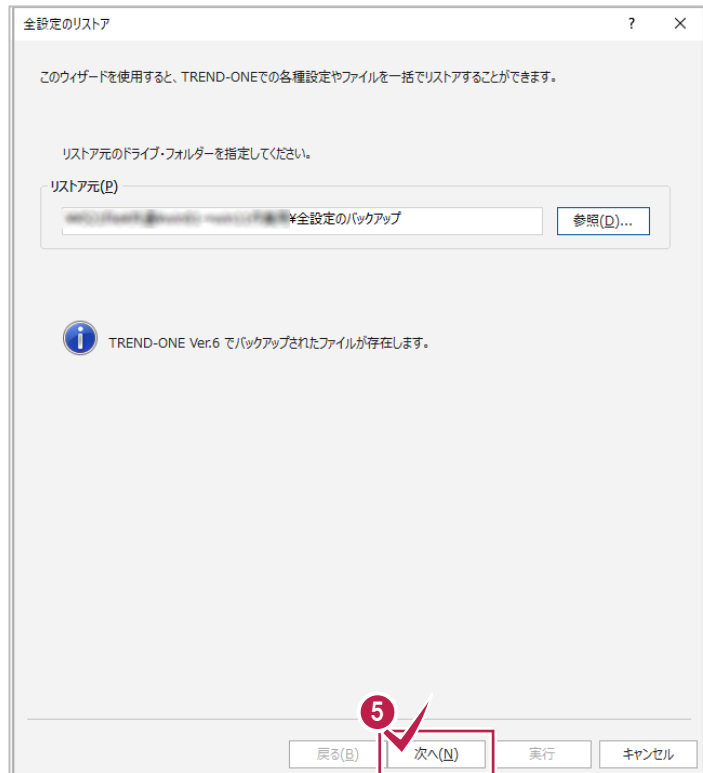
- 3 [読込] タブ [リストア] グループ [全設定] をクリックします。



- 4 全設定のバックアップファイルが保存されているフォルダーを指定します。



5 [次へ] をクリックします。

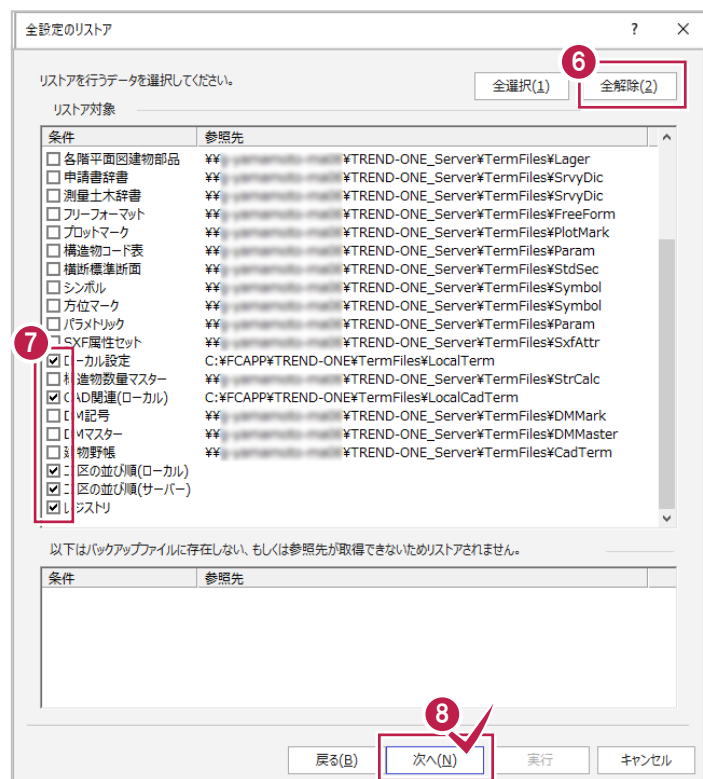


6 [全解除] をクリックします。

7 以下の条件のチェックのみ、「オン」にします。

- ・ ローカル設定
- ・ CAD 関連（ローカル）
- ・ 工区の並び順（ローカル）
- ・ 工区の並び順（サーバー）
- ・ レジストリ

8 [次へ] をクリックします。





- 9 [実行] をクリックします。  
リストア（復元）が開始されます。

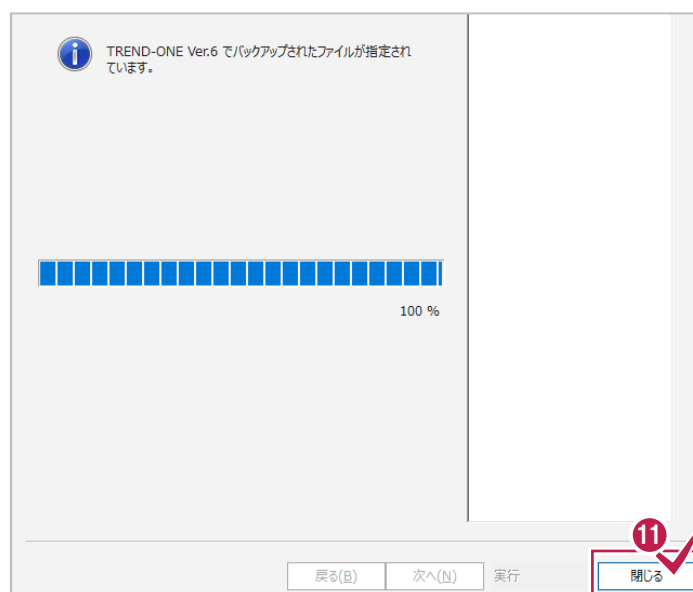


- 10 リストア（復元）が終了したら、[OK] をクリックします。



- 11 [閉じる] をクリックします。

以上で「クライアント PC の全設定のリストア（復元）」は完了です。





# 7

## セキュリティソフトの除外設定

セキュリティソフトに誤認識されてしまうと、起動や保存障害などの不具合が生じることがあります。このような状態を事前に回避するため、弊社プログラムがウイルスの検出対象にならないように、セキュリティソフト側であらかじめ除外設定（検出対象から除外する設定）する手順について解説します。

### 7-1 除外設定の手順書を開く

① お客様サポートの「インストール/認証・起動」をクリックします。



② 「その他お困りごと」をクリックします。



- ③ 「セキュリティソフトの除外設定について」の「セキュリティソフトの除外設定方法」をクリックします。  
 内容を確認してください。

インストール  
新規インストール・バージョンアップ等

認証・起動  
ネット認証ライセンス・プロダクト等

その他お困りごと  
その他システムに関するお困りごと等

その他お困りごと  
プログラムの起動や動作環境など、その他システムに関するお困りごとはこちらをご覧ください。

動作環境について

セキュリティソフトの除外設定について

③ セキュリティソフトの除外設定方法

- ④ セキュリティソフトの手順書が表示されます。  
 お使いになっているセキュリティソフトをクリックすると、除外設定の手順書が表示されます。  
 手順書を参考にして、セキュリティソフトの除外設定をおこなってください。

土木・測量

セキュリティソフト  
ネット認証ライセンス

■ セキュリティソフト

■ ネット認証ライセンス

セットアップサポート

サポートセンターに日々寄せられる質問の中から、セットアップに関する内容を紹介します。

No.	セキュリティソフトメーカー	ソフト別手順書
④ 1	トレンドマイクロ	ウイルスバスター クラウド Ver.16 ※NTTフレッツウイルススクリア・セキュリティ対策ツールもこちら ビジネスセキュリティ クライアント ビジネスセキュリティ サーバー ウイルスバスター コーポレートエディション（クライアント） ウイルスバスター コーポレートエディション（サーバー）
2	ノートン シマンテック	ノートン セキュリティ ノートン インターネットセキュリティ ノートン アンチウイルス ノートン 360 エンドポイント プロテクション エンドポイント プロテクション クラウド
3	マイクロソフト	セキュリティ エssenシャルズ Windows Defender Windows セキュリティセンター
4	ソースネクスト	ウイルスセキュリティ ゼロ スーパーセキュリティ ゼロ
5	カスペルスキー	インターネット セキュリティ ※@Niftyの常時安全セキュリティ24もこちら エンドポイント セキュリティ
6	リブセーフ	リブセーフ Ver.16